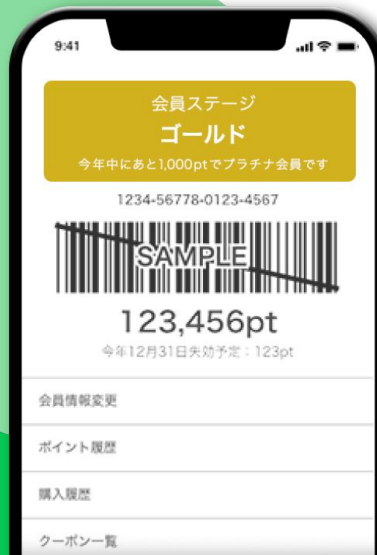


LINE ミニアプリ 開発サービスのご紹介



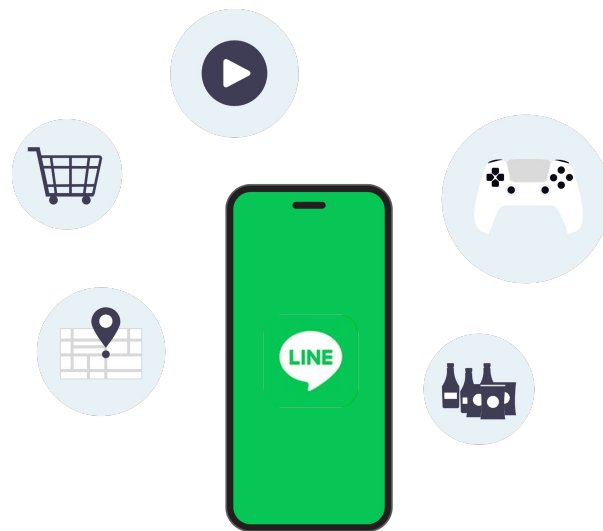
LINEミニアプリとは？

LINEミニアプリは、スーパーアプリ※であるLINE内で利用できる、インストール不要のミニアプリです。LINEミニアプリを活用することで、会員登録・予約・決済・クーポンなどの機能を提供し、LINE公式アカウントと連携して顧客との接点を強化できます。スムーズなUXと低コストでの開発が可能なのが特徴です。

※スーパーアプリとは：複数のサービスを1つのアプリ内で提供できるプラットフォームのこと。LINEやPayPayが代表例。

LINEプラットフォームの強み

1. 月間9,700万人以上 のLINEユーザーへアプローチ可能
2. 公式アカウントとの連携で「友だち追加 → 利用継続」が促せる
3. LINE公式アカウントとの親和性が高い
4. LINEミニアプリ利用者のリテンション強化
5. One to One マーケティングが実施しやすい
6. LINE PayやLINE広告との統合
7. シームレスな決済



LINEミニアプリのメリット

アプリのインストール不要

LINEミニアプリは、LINEがダウンロードされていれば新しくアプリのインストール不要で即時利用可能なため、ユーザーが手間なくサービスを利用開始できます。

- ・ アプリのダウンロード不要で、アクセスした瞬間から利用可能。
- ・ ログイン不要でスムーズに会員証・予約・決済ができる。
- ・ 会員登録のハードルを大幅に削減できる。

アプリの
インストール
不要

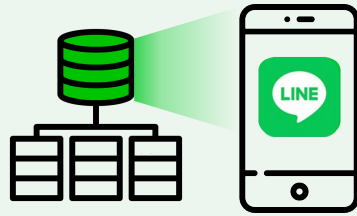


すぐ
利用可能

LINE公式アカウントと連携しやすい

LINEミニアプリは、LINE公式アカウントと連携し、利用者を友だち登録へ誘導しやすく、自然に友だち数を増やすことができます。

- ・ ミニアプリ利用時に自動で友だち追加を促す設定が可能。
- ・ クーポン・会員証・スタンプカードの利用とセットで登録率UP。
- ・ LINEからのメッセージで、再来訪や再購入につなげる。



クーポン
スタンプカード
会員証

LINE ミニアプリとLINE公式アカウントの違い

LINE ミニアプリ

ユーザーへの
サービス利用を促進



予約・決済・会員証管理など

LINE 公式アカウント

ユーザーとの
コミュニケーションを促進



メッセージ配信・クーポン提供
・キャンペーン告知など

同時に利用するメリット

スムーズな友だち追加が可能

ミニアプリ上での様々なサービス体験を通じて自然に友だちを増やすことが可能

最適なコミュニケーション

ミニアプリで取得したデータを基に、
LINE公式アカウントでのコミュニケーションを最適化



アイリッジのLINEミニアプリ開発

アイリッジが提供するLINEミニアプリの開発ソリューション

パッケージ

既存のパッケージを基に、短期間・低コストで導入可能なミニアプリ開発手法です。

特徴

- ・迅速な導入: 基本的な機能が既に備わっているため、短期間での導入が可能です。
- ・コスト効率: 開発工数が抑えられるため、初期費用や運用コストを低減できます。
- ・基本機能の提供: 会員証、クーポンなどの機能が標準装備されています。

適したケース

- ・基本的な機能で十分な場合
- ・迅速な導入を求める場合
- ・予算を抑えたい場合



サービス詳細はこちら

<https://iridge.jp/service/kit-curu/>

システム連携: ✕

コスト低



個別開発

企業の特定のニーズや要件に合わせて、ゼロからカスタマイズするミニアプリ開発手法です。

特徴

- ・高い柔軟性: 独自の機能やデザインを自由に設計・実装できます。
- ・システム連携: 既存のシステムやデータベースとの高度な連携が可能です。
- ・ブランド適合性: 企業のブランドイメージや要件に沿った独自のユーザー体験を提供できます。

適したケース

- ・独自の機能やデザインが必要な場合
- ・既存システムとの連携が求められる場合
- ・ブランド独自のユーザー体験を提供したい場合

システム連携: ○

コスト高

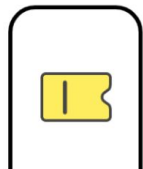


LINEミニアプリの主な機能

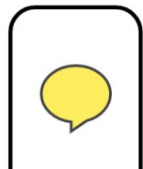
LINEミニアプリは、日常的に使われるLINE上で多彩な機能を提供し、ユーザーとの接点を強化します。



デジタル会員証



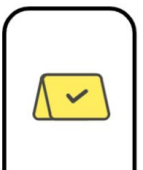
クーポン



メッセージ送信



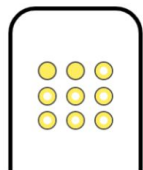
決済



予約



販促キャンペーン



スタンプカード



LINEID連携

LINEミニアプリと公式アカウントを組み合わせたマーケティング

LINEミニアプリは、LINE公式アカウントと組み合わせ利用することで、ネイティブアプリ※と同様のマーケティング（再来店促進）が可能となります。 ※ネイティブアプリとは：スマートフォン等に直接インストールして使用するアプリのこと。

1. LINEミニアプリのサービス提供

店頭QRからLINEミニアプリのサービス立ち上げ



2. 公式アカウントの友だち追加促進

サービス利用時の権限許可設定で、公式アカウントの友だち追加を促進



3. 再訪を促す施策の実施

ミニアプリ行動履歴などをもとに利用者に特別クーポンを配信

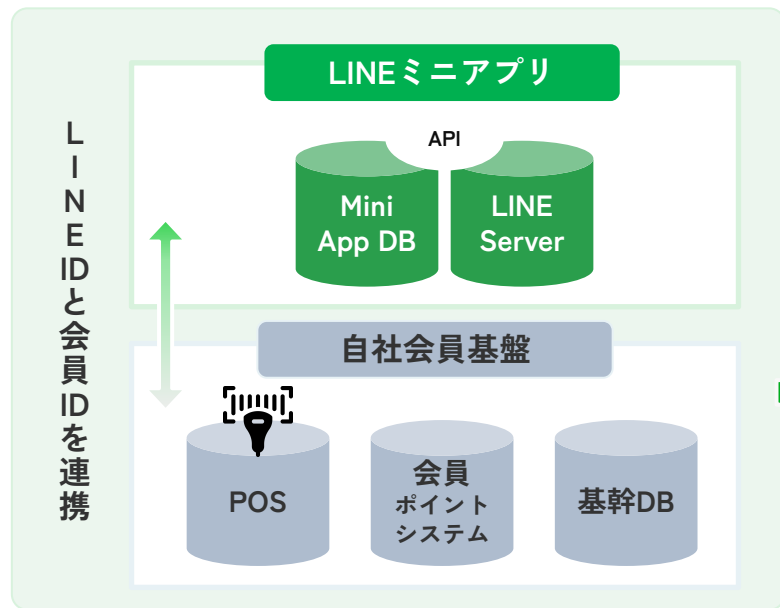


LINEミニアプリと自社会員基盤を連携すると何ができるか

LINEミニアプリと自社会員基盤との連携

会員情報をもとにセグメント

最適なメッセージ配信



LINEミニアプリ上で
ID連携

属性情報やクーポン利用情報などを
掛け合わせ、
配信するメッセージに合わせた
セグメントが作成可能

One to Oneで
最適なメッセージ配信



- 顧客データを統合することで、個別ユーザーのミニアプリ内行動や購買履歴に基づいた精度の高いターゲティングが可能
- 会員ステータスに応じたUI/UXの提供が可能



アイリッジのLINEミニアプリ開発事例

アイリッジのLINEミニアプリ開発事例 ① 京王百貨店様

再来店の促進

京王グループ共通ポイントカード（プラスチック製会員証）の代替となるLINEミニアプリを提供。

【ミニアプリ活用ポイント】

- ・ 既存会員とのデジタル接点の獲得
- ・ ミニアプリで取得されたLINEIDと購買情報を紐づけ
- ・ LINE公式アカウントを通じた再来店促進を実現

【サービス利用増】

初月の既存会員の会員証紐付け

対目標値 **300%** 達成

【サービス利用増】

友だちの **81%** が会員証を紐付け / Block率は **3%**

京王百貨店様 事例



アイリッジのLINEミニアプリ開発事例 ② 阪急阪神ビルマネジメント様

ポイントと連携した販促

阪急阪神ショッピングセンター共通ポイントカード「阪急阪神おでかけカード」のお客さま向けLINEミニアプリ。

【ミニアプリ活用ポイント】

- ビルマネジメントが管理する26施設でポイントを貯められる&使用可能
- ポイントの残高が確認できる
- 実施中のキャンペーンへ簡単にエントリーできる

阪急阪神ビルマネジメント様 事例



よくある質問

Q.1 ミニアプリとネイティブアプリ・Webアプリの違いとは？

A.1 ミニアプリは、インストール不要で即時利用可能な小規模アプリです。ネイティブアプリは高性能ですが開発コストが高く、Webアプリは軽量ですが機能制限があります。ミニアプリはスーパーアプリ内で動作し、UXを維持しながら低コストで導入できる点が強みです。

Q.2 ミニアプリの中でも、LINEが注目される理由は？

A.2 LINEは月間9,700万人以上の国内ユーザーを持ち、公式アカウントやLINE広告との連携が容易でマーケティングとサービス提供を一体化できます。インストール不要で導入ハードルが低い点も他のミニアプリより優れています。

Q.3 LINE ミニアプリ開発について、パッケージと個別開発の違いは？

A.3 パッケージ型（Kit-Curu）は、標準機能が備わり短期間・低コストで導入可能。個別開発は、企業の要件に応じたカスタマイズが可能で、独自機能やシステム連携に適しています。スピード重視ならパッケージ型、独自要件が必要なら個別開発が最適です。

動画で解説



[ご視聴はこちら](#)



[ご視聴はこちら](#)

LINE ミニアプリについて、動画でも解説しています。
LINE ミニアプリの具体的な活用方法や施策の事例についてもお話ししています。

お問い合わせはこちら

<http://lineminiapp.iridge.jp>



dep-mk@iridge.jp



03-6441-2325

お問い合わせフォーム

https://iridge.jp/contact/contact_miniapp/

